



吹田 薫 議員

高島市 新ごみ処理施設と リサイクル施設 について

環境センターの事業について

防衛省の補助採択の見通しは。

答 防衛省に対し、令和6年度末の完成を目指したスケジュールおよび全体事業額ならびに防衛省補助金の対象額を示し、要望しています。

問 新ごみ処理施設とリサイクル施設の事業費の財源確保は。

答 環境部長

焼却施設には防衛省の補助金を、リサイクル施設には環境省の交付金の利用を予定しています。国庫補助金を差し引いた残額につきましては、合併特例債を利用するなど、市の一般財源の圧縮に努めてまいります。

問 新ごみ処理施設整備基本構想では、ごみ処理施設を地域の防災拠点とするところがあるが、具体的にとどのような拠点になるのか。

答 環境部長

廃棄物処理施設においては、地震や水害等によって稼働不能にならないよう、施設の耐震性、地盤改良、浸水対策を推進し、廃棄物処理システムとしての強靱性を確保します。具体的には、今年度策定する施設整備基本計画の中で検討します。

問 生活環境影響調査とはどのような調査なのか。

答 環境部長

大気質、騒音、振動、悪臭および水質に係る事項について、地域の概況や季節的変動の状況を把握する調査をし、最大負荷運転に設定した条件が、環境にどのような影響を与えるのかを予測するものです。および、1年余りの調査期間を要します。

問 不燃物処理場についてどのように考えているのか。

答 環境部長

今津、朽木および新旭地域に設置している不燃物処理場は、いずれも埋め立て終了予定が近いものです。新たな処理場整備は困難なこと、また、すでに埋め立てを完了している地域の不燃物は、大阪湾フェニックスセンターへ搬出している現状から、市内の他地域と同様に、フェニックスセンターへ搬出することになります。将来的なあり方については、現在の一般廃棄物処理基本計画の目標年が、



新ごみ処理施設建設予定地

令和8年度となることから、次期計画の策定に際し、検討が必要があると考えています。